

J - クレジット制度管理者 御中

実績確認概要書

平成30年9月4日

審査機関名 ロイドレジスター クオリティ アシュアランス リミテッド

1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	東曹産業株式会社大阪工場におけるボイラー更新プロジェクト
承認番号	KC1103
排出削減事業者名	東曹産業株式会社
排出削減共同実施事業者名	丸紅株式会社 (その他関連事業者名： なし)
事業実施場所	東曹産業株式会社 大阪工場 (住所：大阪府大阪市城東区今福東3-2-18)
事業の概要	東曹産業株式会社大阪工場において、既設の灯油焚きボイラー2台を高効率の都市ガスボイラー4台に更新することにより二酸化炭素排出量を削減し、また燃料を灯油からより低炭素の都市ガスへ転換するによって更に二酸化炭素排出量の削減を図る。
排出削減量の計画	2010年度： 425 tCO ₂ 2011年度： 431 tCO ₂ 2012年度： 324 tCO ₂ 2013年度： 409 tCO ₂ 2014年度： 431 tCO ₂ 2015年度： 428 tCO ₂ 2016年度： 418 tCO ₂ 2017年度： 418 tCO ₂ 2018年度： 418 tCO ₂ 2019年度： 5 tCO ₂ (事業実施期間合計 3,707 tCO ₂)
クレジット認証期間	開始日 2010年4月6日 終了予定日 2018年4月5日
排出削減方法論	方法論番号001: ボイラーの更新

2. 本実績確認の対象期間

2013年4月1日～2018年3月31日（第2回目実績報告）

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	1,654 tCO ₂ (2013年4月1日～2018年3月31日)
-------	--

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って実施した結果生じていること	排出削減量が、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じている事を、以下の通り確認した。 1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 初回実績確認ではないので該当しない。 2) 対象期間中の設備稼働の確認 都市ガス請求書の確認及び事業者へのヒアリングにより、導入設備は実績報告期間において継続的に稼働していたことを確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って実施され、算定されていることを確認した。 1) モニタリング方法の確認 都市ガスの請求書からの都市ガス使用量の集計データ及び排出削減事業関係者へのヒアリングにより、モニタリング方法が方法論及び承認された削減事業計画に沿って実施されていたことを確認した。 2) 活動量の正確性 都市ガスの集計データ及び排出削減事業関係者へのヒアリングにより、エネルギー使用量の記録・保存は適切になされており、活動量が正確に集計されていることを確認した。 3) 単位発熱量、排出係数等の確認 排出削減事業者へのヒアリング並びにJ-クレジット制度のモニタリング・算定規程（排出削減プロジェクト用）Ver.3.2

	<p>等により、排出削減量の算定式及び使用されている単位発熱量、排出係数等は方法論及び承認された排出削減事業計画の通りであることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認</p> <p>排出削減量の算定結果を都市ガス請求書の集計データとの突合、計算過程の確認、再計算等実施した結果、排出削減量の算定結果に誤りはないことを確認した。</p>
<p>算定結果がクレジット認証期間の終了日を超えないこと</p>	<p>今回の実績確認対象期間は、2013年4月1日から2018年3月31日までとなっているが、J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は2018年4月5日となっているため、当該算定結果がクレジット認証期間の終了日を超えないことを確認した。</p>

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価

今回の実績確認において、承認された排出削減事業計画からの重要な変更点に該当する事象はなかった。

6. 特記事項

本実績確認期間における省エネルギー量として、原油換算81.2 kL、熱量換算3,147.1 GJであることを確認した。

以 上